わくわく図書館の‘ここはまねしてね’ポイント！

1．インフラとして

◎児童の動線に配慮した配置となっている。また、１クラスは授業できちんと学習ができるスペースを確保している。
◎書架が館内の中央に置いてあるが、高さが低いので圧迫感がない。
◎木製の統一感のある書架やカウンターに加え、生きている植物、ぬいぐるみ（キャラクターものではない）、布などでくつろげる空間を創造している。

2．学びを深めるために

◎パソコンと図書館資料と双方が同時に使え、学習を支えるメディアセンターとして役割を果たすことができる。
◎調べるための道案内・教材や知的好奇心を刺激するものが（パスファインダー、マニュアル、情報カード、ワークシート、地球儀、ISSなど）が図書館の中にある。
◎新学習指導要領に示されている授業実践に向け、学習成果物の保管は重要であり、そのスペースが図書館の中に確保されている。

3．本に親しむために

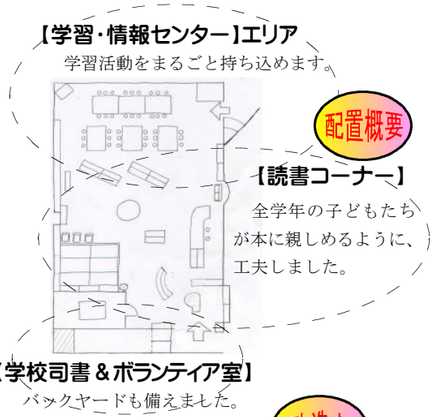
◎読書は、集団でいても、プライベートな知的作業なので、個の読書スペースを確保することが、安心感を生む空間になっている。
◎知的好奇心を刺激し、児童を誘い込むような入口や本の豊かな世界を利用者が共有できるような展示スペースが校内随所にある。

4．そして何よりも…

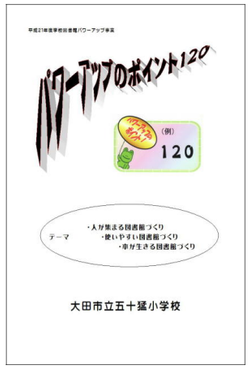
◎全教職員が学校図書館に対して理解をもち、図書館活動・図書館教育を行うにあたり、協力体制で実施されたこと。

アドバイザー　漆谷成子（県立松江南高校）
行武　望（県立出雲高校）

配置概要

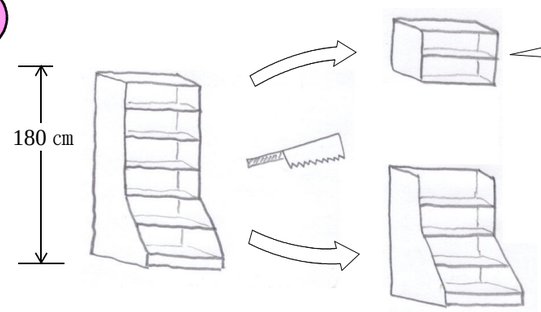


改造点



前ページに紹介したものを含め、全教職員はもとより、おはなしビィーンズ（地域ボランティア）などが、どんな視点をもって、また、どんな工夫をしながら整備したか等について、別冊子としてまとめました。
まとめた時点では、１２０項目ほどありました。

本棚の改修について



同様に切断したものを二つ重ね、ベース（置き台）もつけてもらい、あらたな本棚ができました。

このことにより、低学年の児童にとっても、「手」と「目」が届く書架となり、あわせて、図書館全体を、低層に構成することができました。

夏休みにおこなった移転・改造作業を振り返ると、多くの人の顔が浮かんできます。図書館レイアウトなどを指導いただいたアドバイザーのお二人、本棚を裁断しリメイクしてくださった木工屋さん、汗を流しながら机や椅子を運んでくださった小学校OBの漁師さん、魅力ある壁面掲示などを製作してくださったおはなしビィーンズの皆さん、そして保護者の皆さん。多くの方々の温かさを感じました。新しい‘わくわく図書館’は、「人を感じる図書館」です。
毎日読書に親しんでいる子どもたちの心には、きっと多くの人の想いが伝わっていると思います。本当にありがとうございました。

リニューアル わくわく図書館

完成のしおり

⇦ 学習・情報センター側からの様子

読書コーナー側からの様子 ⇨

平成21年　秋

大田市立五十猛小学校

わくわく図書館マップ

ごあいさつ

今年度始めより、学校司書の配置を受け、「だれもいない図書館」から「ことばが返ってくる図書館、人のいる温かい図書館」に変わりました。子どもたちへのすばらしいプレゼントと感じました。

加えて、「学校図書館パワーアップ事業」も受けることができました。これまでの図書館は、狭く、落ち着いて読書に親しむという環境ではありませんでした。また調べ学習の時には、本を持って教室へ移動しなければならないという、非効率的な形態をとる必要がありました。

じっくり本に向かうことのできる読書センターや、さまざまな情報を得ることのできる情報センターとしての図書館にすることは、本校全職員の願いでもあり、この事業の指定が決まったときは、みんなで喜び、感謝しました。オープニングセレモニーの日の、子どもたちの笑顔が思い出されます。

ここに、新しいわくわく図書館へ向けた整備の概要を紹介します。今後、環境整備を検討される学校の一助になれば幸いです。

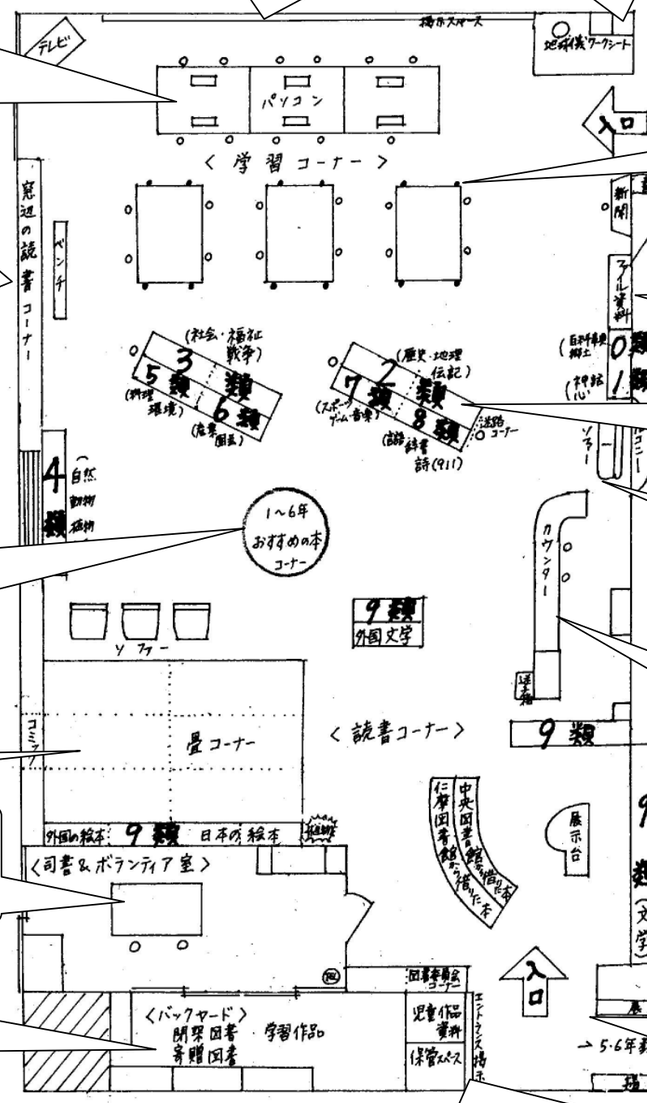
校長　茅島　誠

図書館内にパソコンスペースがあることで、多機能的に学習ができます。

学習の手引となる資料を大きく掲示。NDC 分類表、地図なども常時掲示。

パソコン入力のためのローマ字入力表や、調べ学習に使うプリント類などをいつでも使えるように置いています。

第 2 入口。
主に、3，4 年生が利用するため中学年向きの本を展示しています。



ベンチを置いてカフェ風の読書コーナー。子どものお気に入りスポットです。

調べ方マニュアルを作成。いつでも使えるように、机の横にかけてあります。

パンフレットや小冊子などを分類し、学習に使えるようファイルにしています。

空間に流れを作るように斜めに配置した書架。図書の分類ごとの配架は調べ学習の動線を考えて工夫しました。

1～6 年生ごとに読んでほしいおすすめの本リストを作成。それらの本は、この書架に集めました。

部屋の真ん中に長ソファーを置きました。子どものお気に入りスポットです。

畳コーナーとひとりがけソファー。子どものお気に入りスポットです。

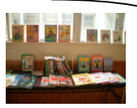
カウンターを部屋の中央に設置することで、館内の児童の動きがよくわかります。

登録・修理などの作業や、ボランティアさんの掲示作業をするスペースです。

閉架図書や登録前の図書、保護者向けの図書等の保管や、児童が制作した学習資料の保管などとても便利なスペースです。

第 1 入口。
部屋全体が見渡せます（表紙右側写真参照）。入り口近くの 9 類の本や公立図書館から借りた本等を様々な工夫で面出し展示しています。

エントランスと廊下は児童の興味を引くようなディスプレイを心がけています。



レイアウトや掲示の工夫

～面出しの方法いろいろ～

古いブックエンドを少し曲げたもの

針金ハンガー利用のブックスタンド

流木を釘で打ち付けて作ったイーゼル型

窓側で本が焼けないよう作成。下に滑り止めを敷く

代本板や端材を使って作った面出し具。ラティスにかけて使用

ポールにかけて使用。廊下窓下の掲示

廊下窓下の面出し台。邪魔なときは折りたためる

流木を使って作った芸術的面出し台。オブジェにも

ポールにかけた展示。ラップホルダー利用(左から2番目)

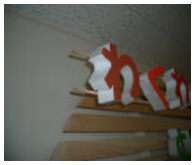
面出し板の後側。板の後ろは発泡スチロール

百均のまな板置きを利用した面出しグッズ。安定〇

ブックエンドに角材を貼り付けて。本が倒れない

～その他の掲示～

剪定した桜の枝で作ったイーゼル。廊下のお知らせ板掲示用。



発泡スチロールを電動カッターで切り取った文字を掲示。夏休みの職員作業で作成。色づけはアクリル絵の具。立体感が出て○

ラティスを使った掲示板。移動でき便利。

～表示板など～

本の入っていた紙ケース利用。ブックエンドにさして

切り込み入れて、書架に直接はさんで。移動できて便利。

二つ表示を貼り合わせたものを挟み込んだ状態

文学の棚の表示板。クリアケースと代本板利用。

分類の色の紙に3桁番号と項目を印刷。クリアケースに入れて書架に差す。

観葉植物もいいアクセントに。これは百均。

百均のプラスチック板を切って作ったツリー。

エントランスのすのこ型掲示板。貼る・かけるなどでき便利。手作り。